

やまと通信

やまと石材がお届けする、手作り新聞

vol.179
2021.2

〔特集〕

**生前のお墓…
それは寿のお墓!?** …… 1・2ページ

仏像・あれこれシリーズ「へえ～そうなんだ!」

仏像の姿勢から何かが見える? …… 3ページ

秋田地域一番店「秋田石材」視察

大型モニターで「お墓」のご提案! …… 4ページ

お仏壇の実態調査アンケート

みんなが思う「お仏壇」ってな～に!? …… 5ページ

お客様の声 …… 6ページ

**「大切な人に贈りたい」語りつがれる絵本
良きご縁をありがとうございます** …… 7ページ



きさらぎ 「如月」ってどんな語源?



1年は12か月。それぞれに様々な呼び名がありますが、2月の「如月(きさらぎ)」って何となくカッコいいと感じているのは私だけでしょうか?そこで、この「如月」の語源を調べてみました。

寒さで着物を重ねて着ることから「着更着(きさらぎ)」とする説。気候が陽気になる季節で「気更来(きさらぎ)」とする説。また、草木が生え始める月で「生更来(きさらぎ)」とする説など…。諸説ありますが、北国の私たちにとっては最初の「着更着」が一番スッキリしますね。

〔特集〕

生前のお墓… それは寿のお墓!?



青森店営業部 平田響子

こんにちは。青森店の平田です。
年末年始から雪が降り続き、今年の冬は皆さん大変な思いをされていらっしゃるのではないのでしょうか。去年はあんなに雪がなかったのに・・・。

さて今回は「終活」という言葉が私たちの生活に浸透してきた中で増えてきている「生前のお墓」についてお伝えしたいと思います。

生前のお墓っていいの？悪いの？

そうですね。ちょっと考えてしまいますよね。お墓のことだからなおさら不安に感じている方も多いと思います。「生きてるうちにお墓を建てると、早くあの世に行ってしまうよ」と、心配が講じて忠告をしてくれる方もいらっしゃるでしょう。その気持ちも痛いほどわかります。

ではここで、この「生前のお墓」を専門用語にしてみましよう。それは「寿陵墓（じゅりょうぼ）」という言葉になります。どうですか皆さん。「寿（ことぶき）」の「陵（おか）」と、なんともめでたい、縁起の良い言葉になりました。この言葉が、もし私たち石屋が考えたとなると、「なーんだ、ただの宣伝じゃないか！」ということになりますが、いえいえそんなことはありません。この言葉は中国では、古くから「寿」を「人の命が長らえることはこの上なくめでたい」という意味で、「陵」は皇帝のお墓のことを意味しているんです。なんか奥深さを感じます。

つまり、寿陵墓＝生前のお墓は長寿を願うおめでたいお墓のことなんですね。

一目でわかる寿陵のお墓

ところで寿陵のお墓ってどのようにしてわかるのでしょうか？皆さんお墓参りなどで墓地去られた際、墓石に刻まれた建立者名を見てみてください。朱色に塗られた名前のお墓を見ることがあると思います。これが「寿陵墓」なんですね。朱色は厄除けの意味もあるそうですよ。

ちなみに歴史を辿ってみると、この寿陵のお墓は、道教の「不老長寿」を信仰した古代中国の秦の始皇帝が起源と言われています。その後日本へ伝わり、聖徳太子や蘇我入鹿が生前にお墓を建てております。皆さんにとって馴染みの深い、昭和天皇も実は生前にお墓を建てられているんですよ。

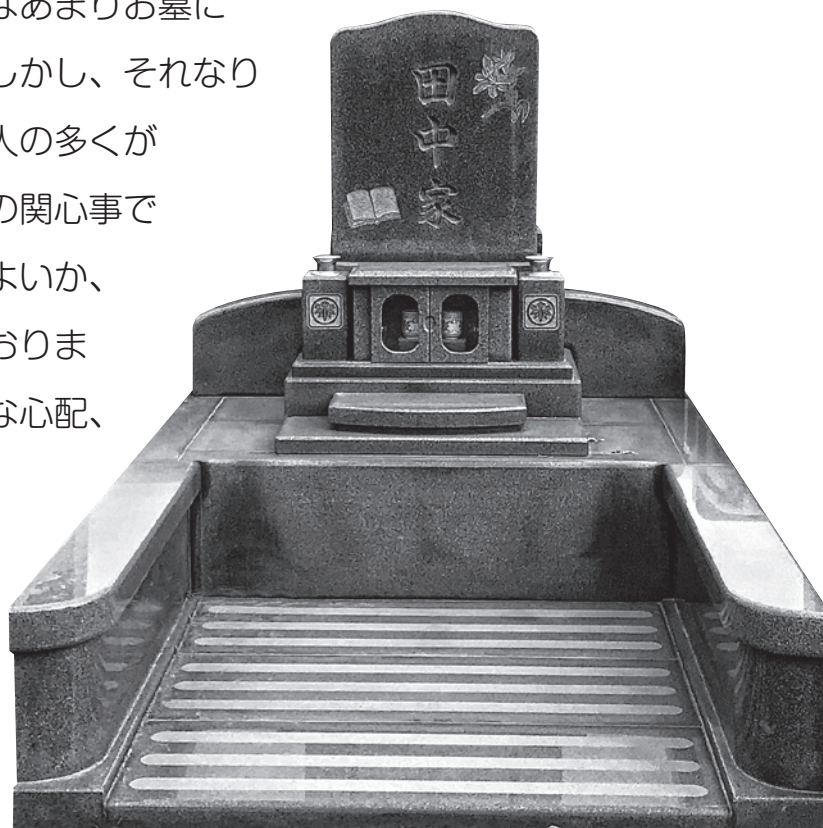
生前にお墓を建てられたお客様の声 (青森市・田中様)

家族に心配・負担をかけたくない という思いからお墓づくりが 始まりました

「お陰様で、年内にお墓をつくることができました。安堵しております。

正直なところ、若いころはあまりお墓に関心はありませんでした。しかし、それなりの歳を迎え、また知人、友人の多くがみまかるにつけ、死後最大の関心事でありますお墓をどうしたらよいか、関心を持たざるをえないでいました。なにより家族に余計な心配、負担をかけたくないという思いからでした。

お墓について知識皆無で全くの素人でしたが、これからまたお世話になります。」



このように生前のお墓は、その人にとって「心の安らぎ」を与えてくれる、大きな節目のような気もします。自分の好きな石で、気に入ったデザインで……。それぞれの思いがそこにあるのでしょう。

もちろん「自分たちの子供にお墓のことで心配をかけたくない」という方もたくさんいらっしゃいます。この機会に一度、ご家族でお話をされてみてはいかがでしょうか。

仏像・あれこれシリーズ

「へえ～ そうなんだ！」



青森店営業部 宮崎 陽

こちらのコーナーでは、知っているようで知らない「仏像」のあれこれをお届けしていきたいと思います。・・・きっと誰かに教えたくなる・・・!?

仏像の姿勢から何かが見える？

皆様一度は目にしたことがあると思いますが、仏像って立っていたり、座っていたり、寝ていたり色々ありますよね。そんな仏様の姿勢には、もしかすると何か意味があるのでは・・・?

まずは、3つの姿勢がありますが、その呼び名はというと・・・



◇立っている仏像
⇒立像(りゅうぞう)



◇座っている仏像
⇒坐像(ざぞう)



◇寝ている仏像
⇒臥像(がぞう)

そして、それぞれの仏像にはちゃんと意味があったのです。

◇立像⇒仏様がまさに、一切衆生(この世の生けるもの全て)を救済すべく動いているお姿。

◇坐像⇒どうしたら一切衆生を救済できるか、思案していらっしゃるお姿。

◇臥像⇒全ての煩惱が無くなり、入滅しようとしているお姿。※お釈迦様限定

う～ん、なるほど～。こうやって調べてみると、仏像の姿勢ひとつとっても、それぞれに意味や目的がある事に驚きました。

奥ゆかしき日本の仏像

仏像の姿勢ですが、同じ仏教国であるタイでは圧倒的に臥像が多いのだそうです。日本は坐像がとても多く、座り方のバリエーションも豊富です。その名を列举してみると、結跏趺坐(けっかふざ)、半跏趺坐(はんかふざ)、輪王坐(りんのうざ)、跪坐(きざ)、倚坐(いざ)、半跏踏下坐(はんかふみさげざ)、遊戯坐(ゆげざ)などなど・・・色々あるんですね。

頑張っている姿、一歩引いた姿を美德とする日本ならではの姿かもしれませんね。

これから仏像を見る目が変わってくる様に思います。

秋田地域一番店「秋田石材」視察

大型モニターで 「お墓」のご提案!



弘前店営業部 三浦 淳

皆様こんにちは、弘前店の三浦です。どうぞお付き合いくださいませ。

昨年11月のことです。やまと石材が誇る精鋭（自称）4名で、秋田県は本荘市まで出かけてきました。当日はまさに「小春日和」片道3時間ほどの移動距離でしたが、非常に快適なドライブでした。

ドライブとはいうものの、当然ながらお仕事です。実はやまと石材は、北は青森から南は広島や四国など、全国に36店舗の墓石店を構える「ランドワークグループ」というグループ会社の一員で、秋田県内にも秋田石材という会社があります。そちらの本庄店が、新店舗に移転したという事で、後学のために視察に行っていました。

かつては、トヨタ自動車のショールームだっただけであって、天井が高く広々とした室内にゆったりとお墓が展示してあります。何よりも感心したのが、大きく明るくて開放的な窓！閉所恐怖症の私にとりましては、何ともうらやましい限りです。

それと、もう一つ目を引いたのが、最近はやりの？デジタル化！大型のテレビモニターに、パソコンで操作したお墓の完成予想図が映し出されます。

例えば、デザインや石種を変えたパターンが見たいとか、墓地の写真があれば、合成写真で実際に建った場合の雰囲気などを即座に見ていただくことができる、などなど、最新の設備を備えています。

やまと石材でも導入を検討しています。近い将来もっとスピーディーに、もっとリアルに、お墓のご提案ができるかもしれません。その節は、是非ともご利用くださいませ。



窓が大きく広々とした店内には、おしゃれなお墓が展示してありました。



お客様テーブルの前には大きなモニターが！オンリーワンのお墓づくりの始まりです。



意見交換の風景。右側が秋田石材の小野社長、その隣が本庄店の齋藤店長です。みなさんともフレンドリーです。

お仏壇の実態調査アンケート

みんなが思う 「お仏壇」ってな~に!?



ショールーム課 佐藤 江里子

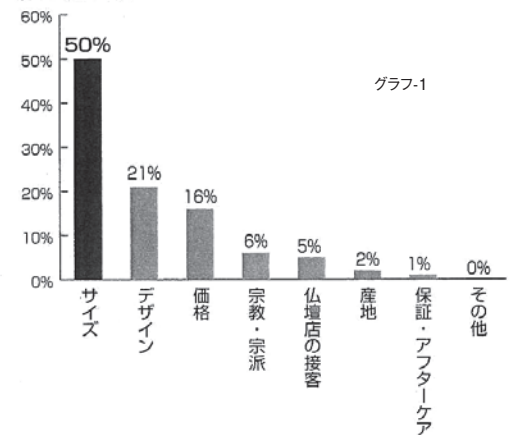
今回は私たちの生活の中に関する「お仏壇」についてお話いたします。とは言っても、その奉り方や歴史などではなく、お仏壇そのものに対する現代の皆さんの思い（考え）をお伝えします。

下記は、全国にネットを通してお仏壇を販売しているウェブサイトが、その利用者を対象として2017年に実施したアンケート調査をもとにしております。今後のお仏壇を考える上で参考になればと思います。

お仏壇への「こだわり」はなんと・・・!

現代の人が最も重視している、仏壇選びのこだわりは、なんと「サイズ」でした。全体の5割です（グラフ-1参照）。首都圏では比較的「デザイン」を重視するという消費者が多かったようですが、最近の住環境の変化や、自分らしいライフスタイルの変化がお仏壇にも影響していることがわかります。

お仏壇選びで重視する「こだわり」を3つあげてください

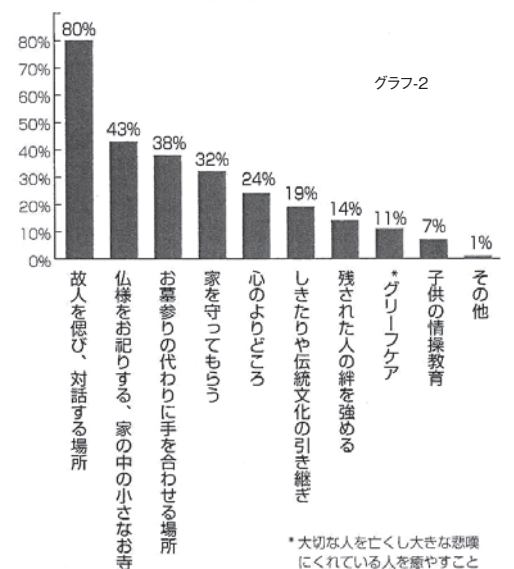


それでもやっぱり・・・お仏壇の役割は？

全世代を通じて、「故人を偲び、対話する場」と捉えている方が8割でした（グラフ-2参照）。現在では仏教的・宗教的な要素が少しずつ薄れてきている現われでしょうか。

また、世代別で見ると「家を守る」が39歳以下では50%なのに対し、70歳以上では15%という結果だったそうです。これも興味深い数字ですね。

仏壇に求めることや役割は何だと思えますか？



*大切な人を亡くし大きな悲嘆にくれている人を癒やすこと

時代の変化、個人のライフスタイルの変化がお仏壇にも色々なかたちで影響しているのかもしれないね。

お客様の声

やまと石材に大切なお墓づくりを託していただいたお客様からのおたよりです。
本当にありがとうございました。



十和田市・下屋敷様

長年の夢であった お墓が完成しました

長年の夢であったお墓が短期間で完成しました。

やまと石材には本当に感謝感激です。

特に営業マンの大澤さんには懇切丁寧に、また工事関係では進捗状況などの現場写真をリアルに送っていただき感謝申し上げます。

魂入には2名も派遣していただき無事終了いたしました。

最後に「歓喜合掌」の刻銘、和尚様も喜んでおります。

ありがとうございました。



白御影石でシンプルながら、上品に仕上がりました。正面には『歓喜合掌』の彫刻・・・「お墓に手を合わせ喜び合う」というご先祖様への感謝のお気持ちを感じられます。

担当者からひとこと

下屋敷様、この度は大変お世話になりました。長年の夢だったお墓づくりのお手伝いが出来たこと、私も嬉しく思います。無事に「下屋敷家」のお墓が完成致しまして安心しております。魂入れも雪の中ご足労おかけ致しました。今後とも宜しく願い申し上げます。



業務課 大澤 隆則



「大切な人に贈りたい」 いつまでも語りつがれる絵本

「とりかえっこ」

さとうわきこ (作) 二俣英五郎 (絵)

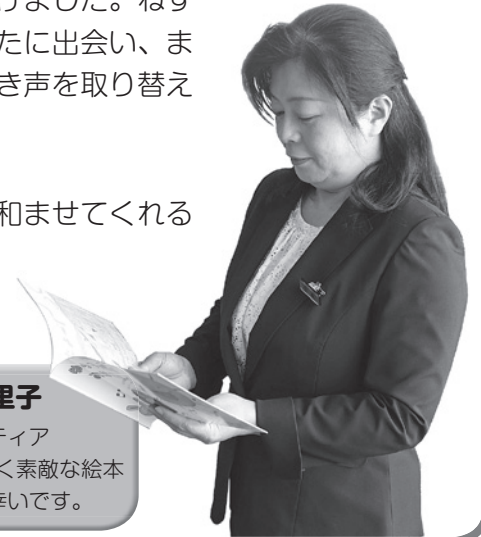
「あそびにいつてくるよ」「びよびよ」ひよこは鳴きながら散歩に出かけました。ねずみに出会ったひよこは、鳴き声を取り替えて「ちゅうちゅう」。今度はぶたに出会い、また鳴き声を取り替えて「ぶうぶう」。こうしてひよこは、色々な動物と鳴き声を取り替えて・・・そして最後にもらった声とは？

さとうわきこの楽しいお話と、二俣英五郎の描く愛らしいひよこが心を和ませてくれる一冊です。

子供たちが小さいころこの絵本を読んであげました。子供たちは、テレビに出てくる動物を見るたびにその鳴き声をマネしていた記憶があります。とてもかわいい記憶です。

ショールーム課・佐藤江里子

絵本の読み聞かせボランティアを続けて10数年。心に響く素敵な絵本を少しでも紹介できれば幸いです。



良きご縁をありがとうございます

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|------|-------|--------|--------|-------|---------|----------|--------|-------|---------|---------|-------|---------|--------|-------|---------|-------|
| 平川市碓ヶ関 | 平川市町居 | 青森市久栗坂 | 弘前市高杉 | 弘前市堅田 | 青森市四ツ石 | 青森市筒井 | 青森市金沢 | 青森市緑 | 弘前市俵元 | 上北郡横浜町 | 青森市久須志 | 青森市安田 | 北津軽郡鶴田町 | 五所川原市金木町 | 青森市東造道 | 弘前市小沢 | 北津軽郡中泊町 | 青森市浪館前田 | 青森市三内 | 青森市浪館前田 | 弘前市浜の町 | 青森市浜館 | 東津軽郡蓬田村 | 青森市羽白 |
| 鈴木様 | 丹代様 | 橋本様 | 葛西様 | 柴田様 | 木村様 | 羽賀様 | 村谷様 | 蛭名様 | 長谷川様 | 菊地様 | 根深様 | 小倉様 | 藤田様 | 鳴海様 | 山口様 | 楠美様 | 山本様 | 長谷川様 | 川田様 | 加賀谷様 | 小野様 | 高清水様 | 八戸様 | 若松様 |

※今月号で紹介しきれなかったお客様は、また次の機会に掲載いたします。

ご意見・ご感想・質問どんなことでもお便り下さい。

Landwork 日本最大36店舗の
ランドワークグループ 墓石専門店グループ

墓石と仏壇
石 やまと石材

【青森本店】〒030-0946 青森市古館1-13-13
TEL. 017-744-1488 FAX. 017-765-1388

【弘前店】〒036-8076 弘前市境関1-1-1
TEL. 0172-27-1455 FAX. 0172-27-1492

E-mail info@yamatosekizai.com 青森 やまと石材 検索

〒036-8076

弘前市境関1-1-1
(株) やまと石材 (青森本店)
やまと通信係

〒030-0946

青森市古館1-13-13
(株) やまと石材 (青森本店)
やまと通信係

編集後記

去年は雪が少なすぎて何となく違和感がありましたが、今年は多すぎです！仏教に中道（何事もちょうどよく）という考えがありますが、この雪もバランスよく降ってほしいものです。（佐々木）